

2011年7月22日

「音読、音読、音読」「書き取り、書き取り、書き取り」「計算、計算、計算」
練習は不可能を可能にする

開倫塾
塾長 林 明夫

Q：開倫塾の夏期講習で今日勉強したことを、授業が終わってからもう一回やり直しました。次は何をしたらよいのですか。次に何をすれば、夏休みが終わるまでに成績が急上昇するのですか。

A：(林明夫：以下省略)よくがんばりましたね。素晴らしいことだと高く評価します。

次に何をしたらよいか。その日に開倫塾の夏期講習で勉強して「うんなるほど」と十分に「理解」したことを、スミからスミまで一語残らず覚えることです。

そのために一番効果があるのが、すべての科目のテキストとノートを大きな声で読むこと、つまり「音読」です。スミからスミまで覚え切るまで何回も、何回も、場合によっては、何十回も、何百回も大きな声で「音読」することです。

何も見ないでスラスラ言えるようになるまで「音読」すること、この練習を「音読練習」と私は名付けました。

第二番目に効果的なのは、書けるようになるまで何回も、何十回も書くこと、つまり「書き取り練習」をすることです。開倫塾のテキストに出ていることは、手が痛くなるくらい書き取り練習をすること。正確に書けなければテストでは点数にならないし、正確に書けるまで練習をしておく、一生忘れないからです。

第三番目に効果的なのは、一度夏期講習でやってなぜそのような答えになるかを理解した計算や問題は、問題を見た瞬間に条件反射でパッパッパッと答えが出るようになるまで、何回も、何十回も解く練習をすることです。これを「計算・問題練習」と私は名付けました。

この3つの練習、つまり、「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」を「定着のための三大練習」と私は名付けました。

慶應義塾大学の元塾長の小泉信三先生は、「練習は不可能を可能にする」とおっしゃいました。「定着のための三大練習」は、すべての学年において塾生の皆様の学力をこの夏休みに飛躍的に向上させます。

自習室では、「今日までにやった内容をもう一度やり直すこと」が大事です。その後は、「定着のための三大練習」をモクモクとやり通して下さい。やった人は、必ず成績が大幅に上昇します。

Q：最後に一言どうぞ。

A：勉強はやるか、やらないかです。

私が開倫塾の皆様にお示ししている勉強の仕方は、どんな人がやっても例外なく、必ずものすごく力がつきます。力はつきますが、時間だけはかかります。

そこで必要になるのが、勉強する目的をはっきりさせることです。「合格」と毎日、何回も紙に書いて「自分は に合格するために今勉強している。とても尊いことをしているのだ」と、自分に言い聞かせて下さいね。

今日はこの辺で。

以上